

## 西会津町における鳥獣被害対策について ～自分達の畑は自分達で守る～

福島県耶麻郡西会津町



西会津町キャラクター「こゆりちゃん」

## 西会津町の概要

人口	7,523人
世帯数	2,813世帯
高齢化率	40.0%
面積	298km <sup>2</sup> (86%が山林)
平均降雪期間	128日
平均最深積雪量	142cm



町内中心部より望む飯豊連峰

## 西会津町の概要



## 西会津町の概要

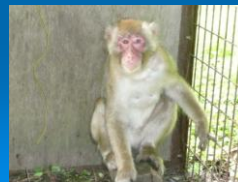


## 西会津町の概要

- 「健康が一番」をスローガンに「健康」をキーワードにした町づくりに取り組んでいます。
- 基幹産業は農業(水稲)で、町内で生産された米は「国際米・食味分析コンクール」で継続して、特別優秀賞を受賞しており**美味しい米の産地**です。
- 野菜は、健康な土作りを基本とした「ミネラル栽培」に取り組み、町独自のハウスのリース事業を実施し、稲作と施設園芸の複合経営を推進しています。
- 特産品の「張子の民芸品」「車麩」「味噌ラーメン」や「ミネラル野菜」などを求めた観光客も増えています。

## 西会津町での被害状況

- ニホンザルによる被害状況
  - ・昭和60年代前半に奥川地区で被害が発生
  - ・現在は奥川、新郷、群岡、野沢地区まで拡大



## 西会津町での被害状況

### ツキノワグマによる被害状況

- ・以前は山での目撃 → 現在集落内まで出没



### イノシシによる被害状況

- ・昨年初めて被害が発生



## 平成22年のクマ出没状況

### 平成22年目撃情報

4月29日～12月6日

181件

(内農作物被害89件)



## 平成22年のクマ出没状況

### 住宅地への出没

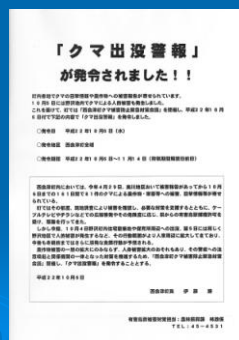
- 10月 4日 野沢町内で早朝、住宅地の軒下から保育所方面移動するクマを目撃
- 10月 5日 野沢地内の山林でキノコ取りに入った人がクマと遭遇しケガを負う。
- 10月18日 夕方、野沢町内の柿の木に出没。早朝住宅地から国道を横断し山に戻る
- 10月23日 早朝尾野本地区の住宅前に親子グマ出没
- 11月 8日 小学校近くの長谷川に子グマ出没
- 11月 9日 前日と同じ場所に子グマ出没

## 町クマ被害防止緊急対策会議の開催

- 町有害鳥獣対策協議会会員を中心とした関係者が今後の取組を協議

(県・警察・消防関係・有害鳥獣捕獲隊・自治区長・町)

「クマ出没警報」を発令  
平成22年10月6日



## 緊急対策会議で決定された被害対策

- ①全戸に注意チラシ配布
- ②小中学生にクマよけ鈴の配布
- ③PTAや地域の人たちによる通学路の安全確保
- ④防災無線による注意喚起(1日3回)
- ⑤ケーブルテレビによる注意喚起番組の放送
- ⑥パトロール車による注意の呼びかけ
- ⑦出没地区の注意看板の設置
- ⑧被害防除機器の設置
- ⑨「西会津町クマ出没対策マニュアル」の作成

## 平成23年度のクマ出没状況

### 平成23年目撃情報

5月3日～10月25日

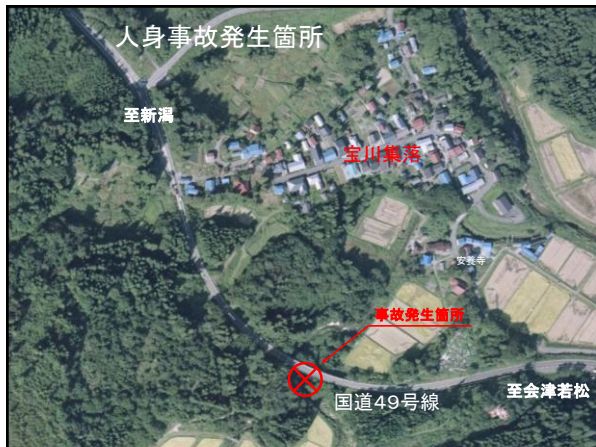
86件 (内農作物被害27件)



### 7月21日 死亡被害発生!

早朝、宝塚集落周辺で笹採りをしていた女性クマに襲われ死亡

死亡事故発生後、「西会津町クマ被害防止緊急対策会議」を開催し、対策を強化



## 23年度に実施した被害防止対策

- ①集落環境点検の実施(サル・クマ)
- ②未利用果樹木の伐採・整理
- ③集落周辺の森林の除間伐の実施
- ④ケーブルテレビでの情報の伝達
- ⑤地区を上げての追払い活動
- ⑥電気柵設置による農作物被害の防止
- ⑦新規に狩猟免許を取得する方への補助

## ①集落環境点検の実施

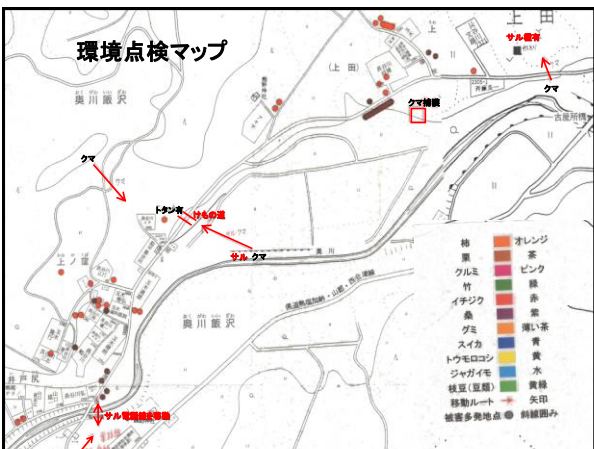
- 23年7月研修会開催  
☆対象者: 自治区長

➔

- 町内90の集落の内、  
出没の多い24集落で  
集落環境点検に取り組みました。

「有害鳥獣被害対策について」  
福島県生活環境部  
野生動物専門員  
溝口俊夫氏

「集落環境点検について」  
福島県農業総合センター  
主任研究員  
木幡栄子氏



## 集落環境点検後の話し合い

- 作成したマップにより集落での話し合い

## ②未利用果樹木の伐採・整理

- 集落環境点検の話し合いの結果、利用しない果樹木は

↓

①所有者が伐採・整理

②所有者が処分できない場合

↓

町が所有者に代わって伐採を行う

## 未利用果樹木の伐採

(伐採前)



(伐採後)



## ③集落周辺の森林の除間伐

- サル・クマの出没ルートとなる集落周辺の林の除間伐を「緊急雇用創出事業」により実施
  - ☆ 群岡地区～上野尻
- 県事業の「森林整備加速化事業」の中の「修景等環境保全事業」を活用し、集落周辺の森林の除間伐を実施
  - ☆ 奥川地区～梨平、極入、小山
  - ☆ 尾野本地区～上・下小島

## 森林の除間伐



(間伐前)

(間伐後)



### 梨平集落の実施状況



### 上野尻地区の実施状況



## ④ケーブルテレビでの情報伝達

- 町ケーブルテレビを活用し、8月2日から9月26日まで出没が多い時期に、毎週1回町内での「クマ出没情報」をニュースの中で放送し注意喚起を呼びかける。
- 特別番組「農林業コーナー」で、町が取り組んでいる有害鳥獣対策について放送し、自分達ができる対策を情報伝達する。

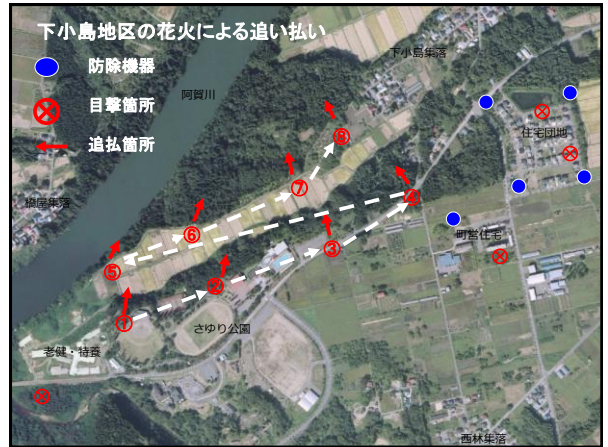
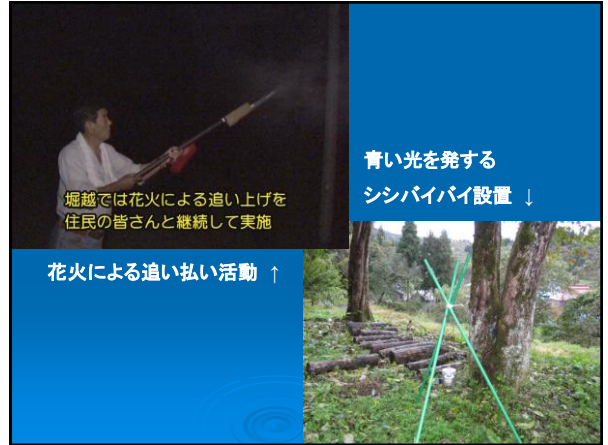
## ⑤地区を上げての追払いの実施

### ➤ 新郷地区高目

5月→苗代が荒らされる被害が発生  
 その後も集落周辺で何度も目撃情報  
**夜間、集落の役員が花火の追払い**  
**を実施→その後の出没なし**

### ➤ 尾野本地区西林

7月→さゆり公園・町営住宅近くで目撃情報  
 住宅近くで夜間の被害確認  
**夜間、花火による追払いと住宅団地に**  
**シシバイバイを設置→目撃が激減**

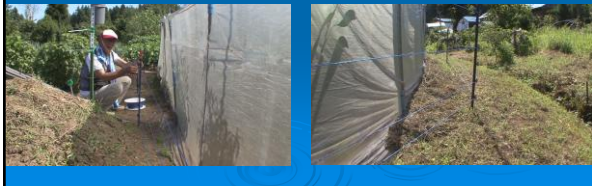


## ⑥電気柵の試験施工

➤ クマによりトウモロコシやスイカに被害が多発していた野沢地区で、試験的に電気柵を設置し効果検証を行った。

→設置後は被害なし

→住民に自分で出来る被害対策を実証



## 有害鳥獣による被害額・捕獲頭数

(単位:被害額千円)

	平成19年	平成22年	平成23年
ニホンザル	6,043 (41頭)	3,404 (78頭)	2,854 (28頭)
ツキノワグマ	— (3頭)	— (14頭)	199 (3頭)
イノシシ	—	—	1,310

## 平成24年度の新たな被害対策

### 1. 「西会津町鳥獣被害対策実施隊」の活動

平成24年8月編成 隊員26名

毎週日曜日、捕獲隊員によるパトロール実施

### 2. 有害鳥獣捕獲業務

に関する研修会

### 3. 「サル接近警戒システム」設置

地域ぐるみの追い払い活動の実施



## 被害防止対策のポイント

- 相手を知る → 被害状況を詳しく調査し、生態と出没原因を知る
- 被害対策 → 出没原因となる誘引物の撤去や、現場の状況にあった対策を住民行政が一体となって行う
- 住民の意識 → 環境点検や追い払い活動で「サルやクマを寄せ付けない環境づくり」に地域が取り組む

**継続は力** → あきらめない！ 対策は見直しながら継続して実施

ご清聴、  
あらがやんげんまじだ。

